

# 鳥羽下水處理場

京都市水道局下水課長 中條都一郎

鳥羽下水處理場は總工費20,460,000圓を以て昭和9年度より昭和18年度に至る10ヶ年繼續都市計畫事業下水道工事の一部事業として昭和10年6月着工昭和14年3月その第一期工事を完成す。

位置 加茂桂兩川に挟まれたる下京區上鳥羽塔ノ森の農耕地にして敷地面積 50,166坪とす

設計 京都市水道局下水課

工事方法 京都市水道局下水課直營工事（但し建築物は請負工事とす）

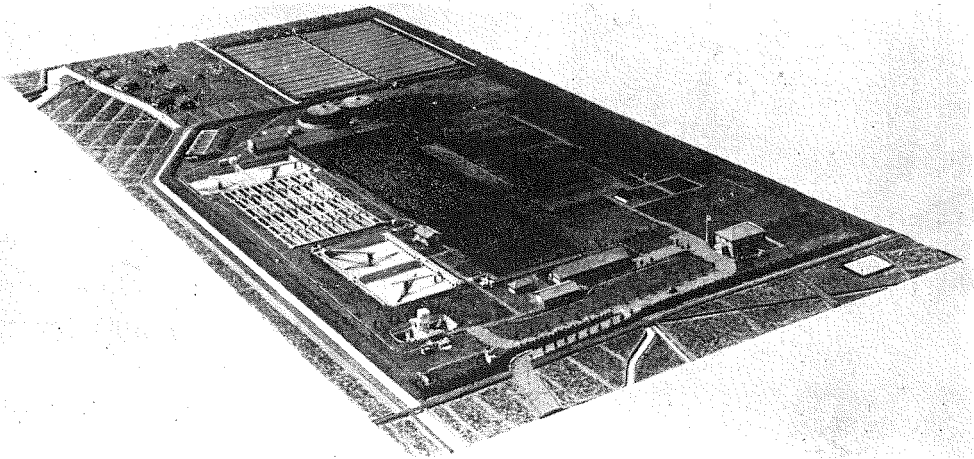
工事の内容 主なる設備工事は除塵水路沈砂池唧筒場沈澱池曝氣槽最終沈澱池、送風機室汚泥消化槽汚泥乾燥場等にして之が工事費約2,580,000圓直傭總延人員324,000人なり。

主要使用材料次の如し

セメント使用量 166,660袋（但し普通セメント、硅酸セメント、高爐セメント、硅酸白土等を使用す）

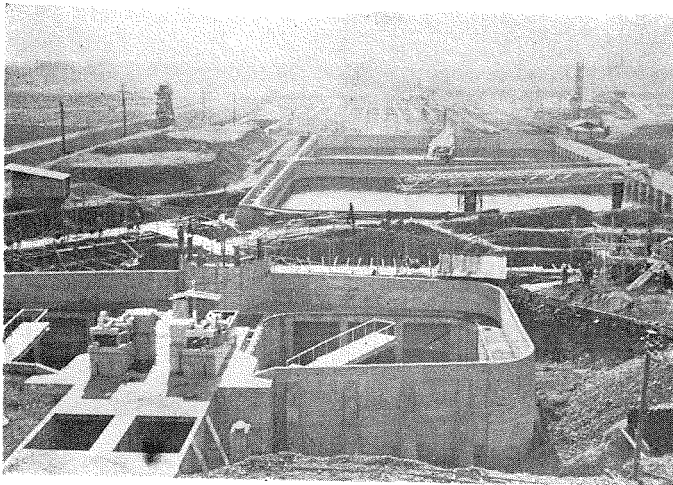
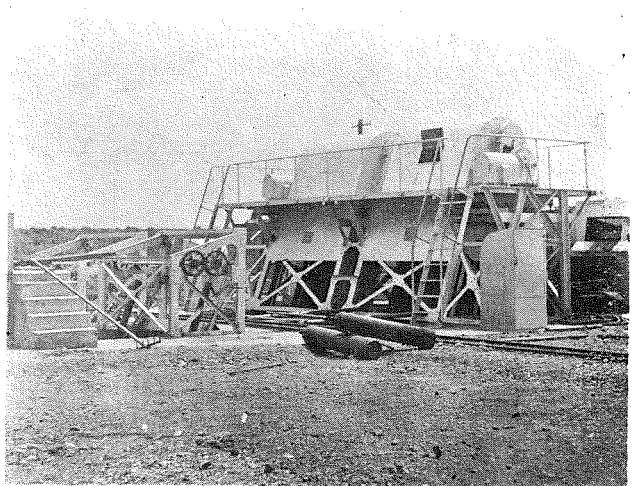
鐵筋	1,376
鑄鐵管	177
鋼管	44
エタニットパイプ	71

## 1. 處理場模型俯瞰



## 2. 除塵水路

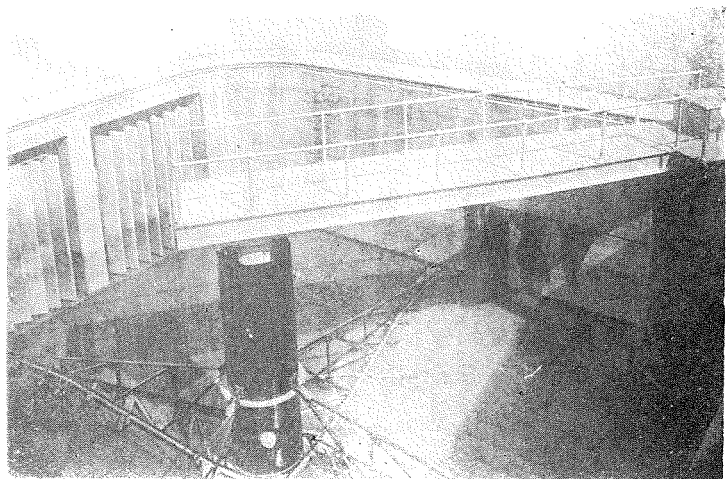
幅2.3米、深5.2米の鉄筋混凝土水路2個に、粗スクリーン及手動掻揚機、細スクリーン及電動掻揚機を備ふ。



## 3. 沈砂池工事

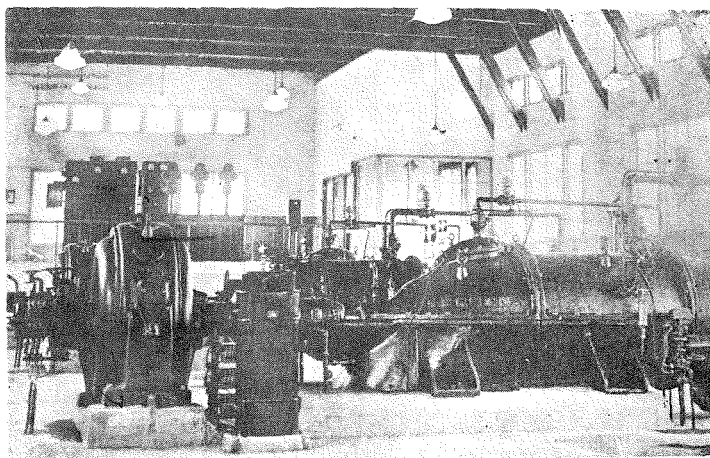
長、幅共12.2米、深3.90米の鉄筋混凝土槽2槽よりなる(後方は沈澱池及曝氣槽)

## 4. 沈砂池及電動沈砂掻集機

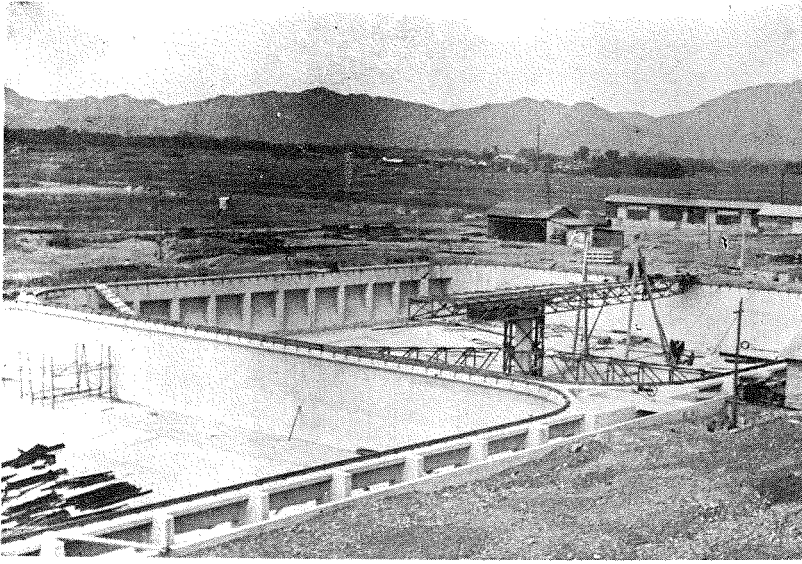




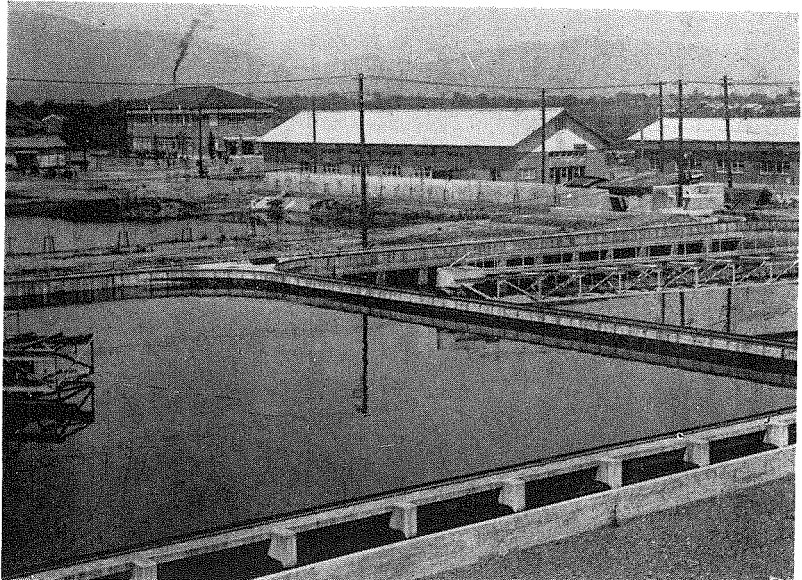
5. 沈砂池より唧筒場へ至る  
導水渠  
幅3.40米、高2.70米、馬蹄  
形鐵筋混凝土暗渠。



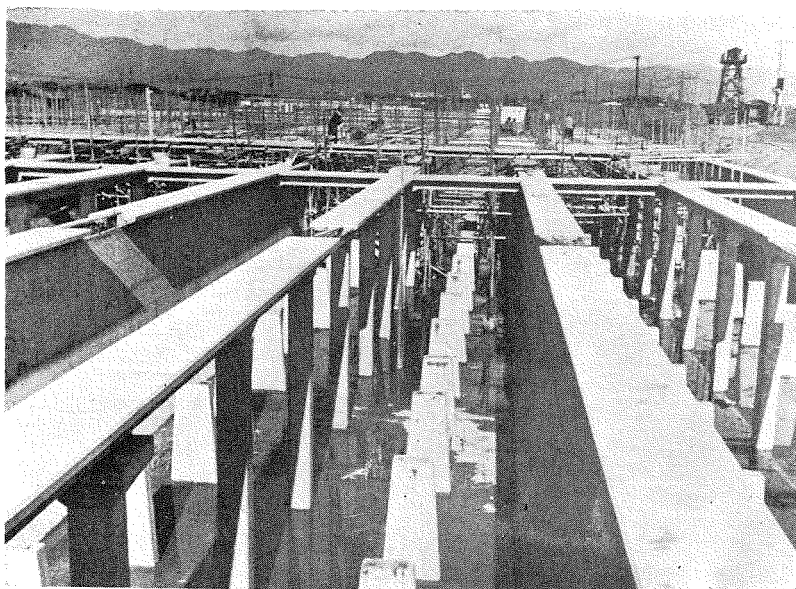
6. 唧筒場  
梁間12.60米、桁行48米、  
木造建にして唧筒は鐵筋  
混凝土凹凸形水路上に据  
る。



7. 沈澱池汚泥掻集機組立。



8. 沈澱池  
長、幅共42.67米、  
有効側深3.66米鐵  
筋混凝土水槽。

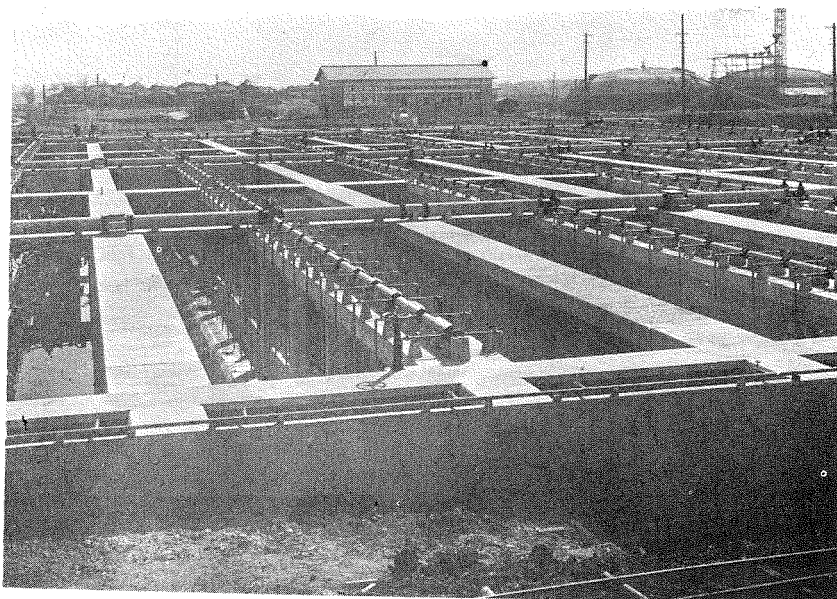


9. 曝氣槽工事

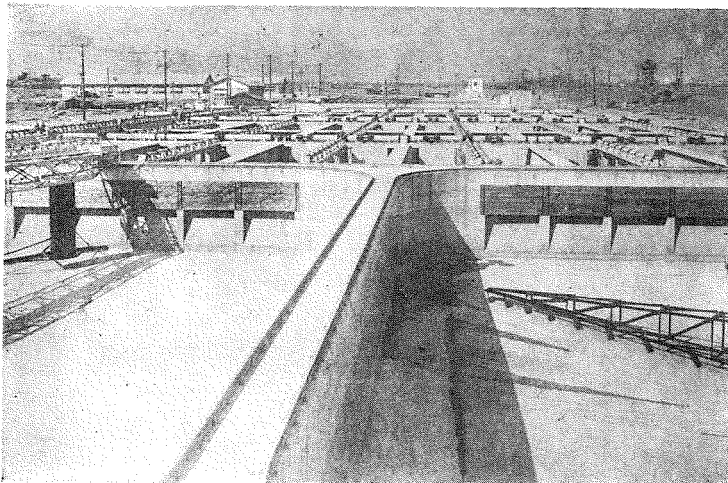
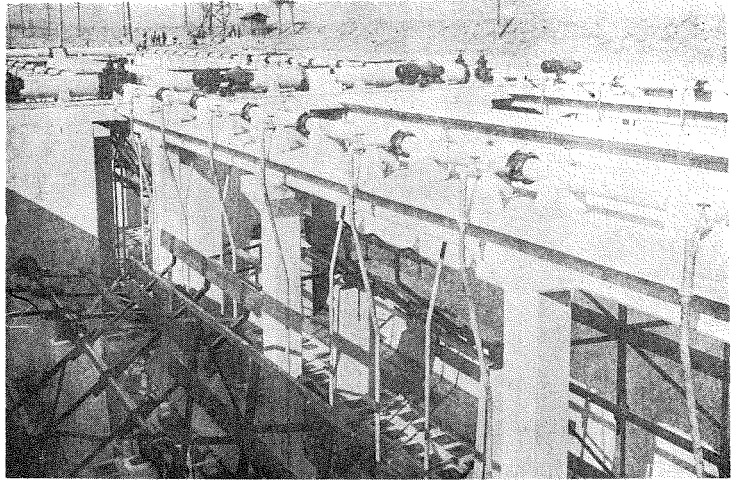
10. 竣功せる

曝氣槽

長105米、幅  
9.0米、水深  
4.25米、鐵  
筋混凝土水  
路6個及長  
100米、幅4.  
5米、水深4.  
25米の水路  
1個よりな  
る。



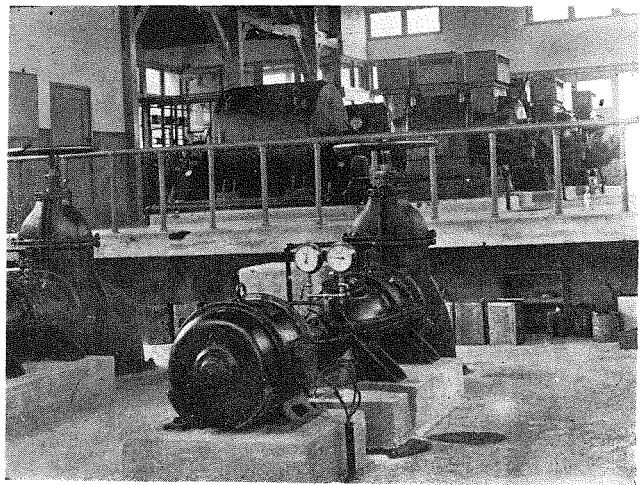
11. 曝氣槽攪拌機

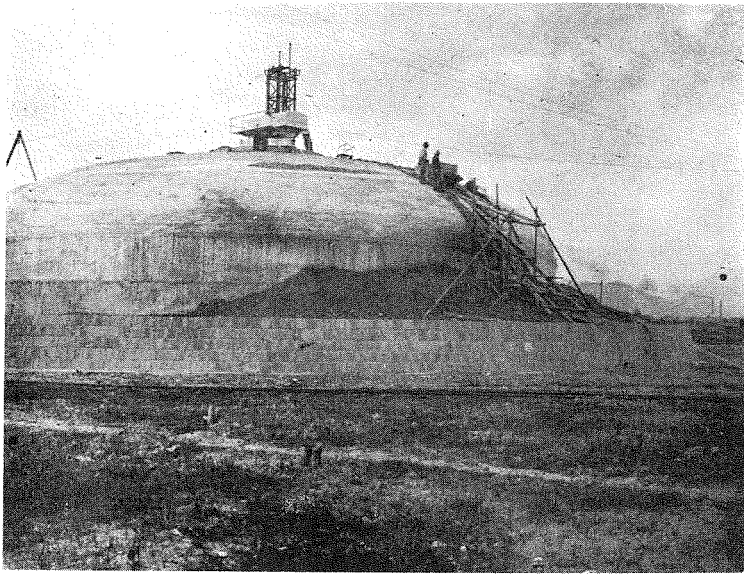


12. 最終沈澱池及曝氣槽

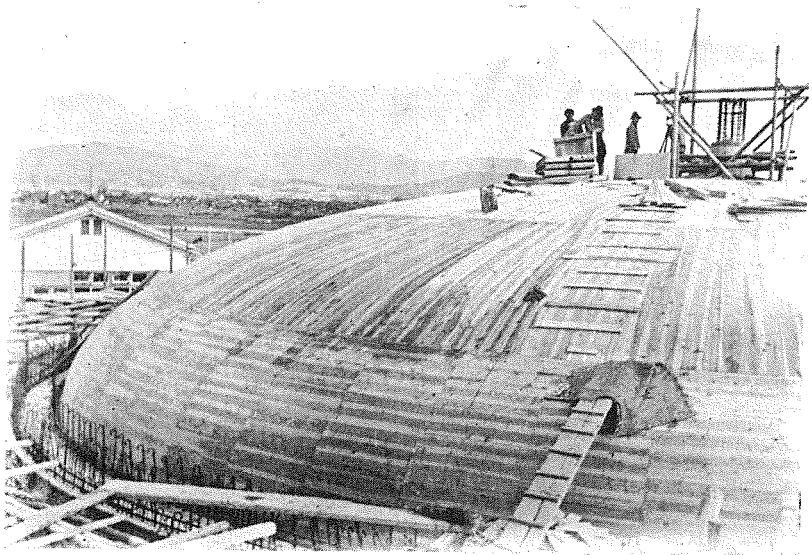
13. 送風機室

梁間9.25米(一部13.30米) 桁行  
26.6米、木造但地階鐵筋混凝土  
造りとす。

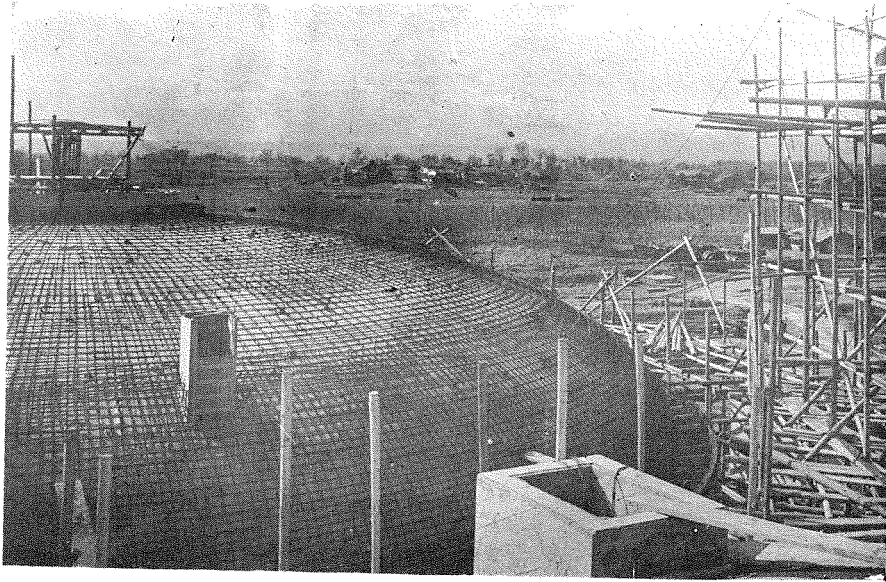




14. 汚泥消化槽  
內徑25米、有効側深  
8.92米、屋根部迴轉  
橢圓體壁部圓筒鐵筋  
混凝土水槽。



15. 汚泥消化槽  
圓蓋部型枠。



16. 汚泥消化槽圓蓋部配筋。

有効幅12米、有効長73米、有効深20種の乾燥床14個及有効幅11・10米、有効長72米、有効深20種の乾燥床14個よりなる。但前者は混凝土壁に依り圍れ、後者は土羽打壁により圍る。

17. 汚泥乾燥場。

